

# じんげん ア ジ ール asile

春夏号  
2015  
大谷大学広報誌

人との出逢い、関わりのなかで  
生きる力を育んでいく

# 人との出逢い、 関わりのなかで 生きる力を育んでいく



本学を卒業後、プロ野球審判員になった佐々木昌信さん。

実家のお寺を継ぐべく真宗学を学んだという異色の経歴を持つ審判員として、セントラル・リーグで大活躍。

現在はクルーチーフとして後輩の育成にも力を注いでおられます。僧侶の資格を持ちながらなぜプロ野球の世界に飛び込んだのか、

若き世代に伝えたいことは何か、

草野学長と共に語り合っていました。

## 不思議な縁で飛び込んだ世界 人との関わりが自分をつくる

**草野** プロ野球の審判員になられた方は、大谷大学の歴史上初めてです。野球部だったことはお聞きしていますが、どんな経緯だったのでしょうか？

**佐々木** 野球部が加盟する京滋大学野球連盟でお世話になっていた、ある用具メーカーの方とお話する機会がよくあったんです。ある時、卒業後の話になって、実家の寺を手伝いながら地元・群馬で仕事ができれば…ということをお伝えした時に「それなら一度審判員のプロテストを受けてみないか」と。子どもの頃から野球が好きでずっとやっていたけれど、審判員の知識や経験はゼロ。私としては記念受験のつもりで受けたんですが、あれよあれよという間に合格になったという流れですね。

**草野** 親御さんはさぞ驚かれたでしょう？

**佐々木** 最初は信じてもらえなくて「騙されているかも知れないから、絶対に判子は押すなよ」と(笑)。私自身、思いも寄らなかつた展開に、不思議な縁を感じましたね。

**草野** 大学では人との出逢いや縁について学ばれたと思いますが、まさに、ご自身の身で体験されたわけですね。

**佐々木** そのとおりです。メーカーの方との出逢いがなければ今の自分はなかったでしょうし、そもそも谷大で学んでいなければ、その後を訪れるさまざまな縁や出逢いの大切さに気づくこともなかったかもしれません。

**草野** 「自分一人では何もできない、他人との関わりのおかげで自分ができあがっていく」というのが真宗の教え。大学で学んだことが目の前に現れたというところでしょうか。

**佐々木** 本当に。たくさんの人との出逢いがあるからこそ、これまでの人生があるんだと感じています。

## 心に留まる一つひとつの言葉が 自分を支える大きな力に

**草野** 審判の仕事のなかで、大学の学びが生かされていると感じることは？

**佐々木** いくつもありますね。なかでも心に残っているのは、当時野球部の監督だった栖雲先生の言葉。住職でもあり光華女子学園で宗教を教える講師



### 佐々木 昌信 ささき まさのぶ

1992年真宗学科卒業。卒業と同時にセントラル・リーグ審判員に。95年5月にデビュー以来、数々の試合に出場し、若くして1000試合出場を達成。2006年に審判員奨励賞を受賞。2013年よりグルーチーフに昇任。シーズンオフは実家の寺の手伝いも行う。



### 大谷大学 学長 草野 顕之 くさの けんし

専門分野／日本仏教史(中世)・真宗史。  
1976年3月大谷大学文学部(史学科)卒業。  
1981年3月同大学院文学研究科(仏教文化専攻)博士課程満期退学。2003年博士(文学)(大谷大学)。学生部長、学監・文学部長などを歴任し、2010年4月より第27代学長。



でもあった方が、1年生の私たちに「大学4年間で、法に触れない悪いことは全部覚えて帰れ」と(笑)。その時は「なんてことを言うんだ」と衝撃でしたけど、実際、勉強だけでなくいろいろなことを経験した学生生活は、さまざま人と関わり、相手を理解する上で、本当に生きていくと感じます。

**草野** 人間は複雑な存在ですから、その複雑な気持ちを受け入れる幅広さを、いろんな経験をおして学びなさいということだったんでしょうね。

**佐々木** そうですね。あと、「今はわからなくても、10年後、20年後に覚えてくられてたらい」とも。学生時代って、学生本人は意外とわかっていないことが多いですね。授業で聴く言葉の意味も、本当の意味では理解できないことが多い。それでも、一生懸命に聴くなかでぼつぼつと心に留まる言葉もあって、壁にぶつかったり人間関係に悩んだときに、大きな支えになってくれるんです。私は一度読んだ本は捨てますが、大学の授業で使った本だけは手元に残して今でも読み返していますよ。

**草野** それは私たちにとっても大変嬉しいですね。大谷大学の学びは、単に知識ではなく「生きる」とは何かを問い、考えていくもの。さまざまな学びが生きる力になることが願いですから。

**佐々木** 私自身、心折れそうな時は幾度もありましたが、そんな時に思い出すのが先生や先輩方の言葉。学生の皆さんも一つひとつの学びを大切に、心に留まる言葉を残してほしいです。

### 素直に聴く、素直に受け入れる それが人を成長させていく

**佐々木** そこで思い出すのが、ゼミの担

当だった延塚先生の「人の話を聴きなさい」という言葉です。まず聴いて、そのうえで自分の考えを述べていく。それが対話なんだと。

**草野** 人の話や考えを「素直に聴く」ということも生きていくうえで大切なことですよ。

**佐々木** 今、野球界で「凡事徹底」、つまり、当たり前のことを当たり前にやるという動きがあるんです。挨拶や道具を大切に使うことやルールを守るなど、誰もが「そんなことはわかってる」という事を徹底してやるうと。でも、実際にできていないことが多く、できないということは本当にはわかっていないということ。「知っている」と「わかっている」は違いますからね。

**草野** できないことを指摘されたとき、素直に聴ける人は意外と少ないもの。真宗の教えを説く時に、よく「頭が下がる」といわれることがあります。これは「人間は大した存在ではない。間違えもするし弱さを抱えている」というところに立ち、その人間が救われる道を考えていくという親鸞聖人の考え。自分ではできていないと素直に認めることから、初めて人は成長していきけるのだと思います。

**佐々木** 実力主義と思われているプロ野球の世界ですが、長く多くの人から信頼される存在になるには、結局人間性です。それは、どんな仕事に就いても言えるのではないのでしょうか。

**草野** そうですね。学びをしっかりとし身につけるうえで、人と信頼関係を築くうえで、「素直さ」が大事だと思っています。

**佐々木** 人との出逢いやたくさんの言葉はきつと大切な財産になるはず。素直な心で受け入れ、人として大きく成長する学生生活を過ごしてほしいですね。

# 私たちのキャンパス紹介



2015年3月～2016年8月末 新教室棟中央・南エリア建築工事中  
 2016年後期より利用開始

**キャンパスがリニューアル開始!**  
**2018年度グランドオープン予定**

大谷大学は、教育・研究力のより一層の充実を図り、学生が主体的に学ぶことができる新しい環境づくりをめざして、2018年度グランドオープンをめざし、新教室棟の建築を含めた本部キャンパスの総合整備に着手しました。

本部キャンパス整備の第2期工事が2015年3月からスタートしました。現在行われている工事では新教室棟の中央・南エリアを対象としており、2016年度後期より利用開始の予定です。

→ 本部キャンパス総合整備計画の詳細な情報は... <http://www.otani.ac.jp/buildup>

**1F 保健室・学生相談室・人権センター**  
 学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りで悩まず気軽に訪ねてください。

**1F 博綜館** / はくそうかん  
 大学内の職員室のような場所です。奨学金のことや試験のことなどわからないことがあった時など、困った時には至誠館へ。

**1F 至誠館** / しじょうかん  
**1F 教務課・学生支援課・キャリアアセンター**  
 1913年に竣工され、2013年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴のシンボリック建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

**1F 尋源館** / じんげんかん  
 1913年に竣工され、2013年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴のシンボリック建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

**1F 部室棟**  
 部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているのので、どんどん訪ねてください!

**3F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)**  
 留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。留学説明会や勉強会、留学生との交流イベントなどを実施しています。

**1F 博物館**  
 真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、他分野にわたる史・資料を所蔵する博物館です。定期的に企画展や特別展を開催しています。

**B1F 学内書店(文栄堂)**  
 教科書や辞書をはじめ仏教関係の専門書、新書、文庫本から雑誌まで揃えています。またレポート、卒業論文などに必要な大谷大学論文用紙も販売しています。

**B1F 響流館** / こいうかん  
**B1F 購買部(セブンイレブン)**  
 大学構内に、購買部としてセブンイレブン大谷大学店が営業しています。谷大グッズや大学生活で必要な文房具などを購入することができます。

**1F 4号館**  
**1F 教職支援センター**  
 教員免許の取得や教育実習について相談のつてくれる頼れるアドバイザーがいます。教員採用試験に関する資料も多く、パソコンも使用できるので教員をめざしたい方はぜひ利用してください。



# 新入生へのメッセージ

# キャンパスカレンダー



入学式の様子



4月のキャンパス風景

4月

- 入学式・オリエンテーション
- 前期授業開始
- Web聴講登録
- 若葉祭

5月

- 宗祖誕生会



総合研究室での様子

6月

- 「卒業論文」「卒業研究」題目届提出

7月

- 前期定期試験

8月

- 夏期休暇



7月のキャンパス風景

9月

- 集中講義
- 後期授業開始
- Web聴講登録修正

10月

- 開学記念日



開学記念式典の様子

11月

- 学園祭「黎明祭」
- 大学報恩講
- 「卒業研究」提出 (仏教科・幼児教育保育科)



学園祭の様子

12月

- 冬期休暇



11月のキャンパス風景

1月

- 「卒業論文」提出
- 後期定期試験
- 卒業論文口述試問



1月のキャンパス風景

3月

- 卒業証書・学位記授与式



卒業式の様子

実家が遠いため、学寮に入りました。なかなか家族と会うことはできませんが、寮生のみんなと過ごすことで寂しさは減りました。卒業して1人暮らしになった今でも、寮生や友だちと集まって家族のようにお互いのことを話します。寮でも1人暮らしでも、身の回りのことは自分でするので責任感も生まれます。今は不安でも積極的に色々なことを始めて、さらさらとした大学生活を送ってください。

1人暮らしは少し不安。でも、友だちが支えてくれます。

高嶋 彩音  
(真宗学科 第4学年)



大学生活はあつという間！なにごとにも積極的にチャレンジ！

山本 誠也  
(国際文化学科 第3学年)



大学での学生生活は長いと思うでしょうが、あつという間です。挑戦してみたいこと、やってみたいことは社会に出てからではなかなか簡単にはできません。大学生という強みを最大限に活かして、「思い立ったらすぐ行動」しよう！私は自転車競技に挑戦中です！

自分の好きな学びをどんどん広げていくことができる場所です。

山蔭 樹  
(教育・心理学科 第4学年)



小学校の先生をめざし、理科教育に重点を置いたゼミに所属しています。理科の支援員として実際の小学校に行き、自分の好きな理科をどうしたら子どもたちに楽しく伝えることができるか、日々研究しています。みなさんも自分の好きなことをどんどん深めていってください。

他の学科の授業を受けてみるのもおもしろいですよ。

森 詩穂  
(文学科 第3学年)



専攻している学科の専門的な学びだけでなく、他学科の講義を受講することで考え方や視野が広がり、より知識を深めることができます。自分の専攻分野でなくとも、興味・関心のあつる分野をみつけたら、積極的に関わってみるのがおすすめです。

# PICK UP! クラブ活動



好きなことに、  
思いきり夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。  
だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。  
学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、  
たくさんの友達と共有できる時。  
「好き」ということに、「とことんこだわると、  
あなたの人生はきつと豊かになる。」

## 伝道部

部員数…3名(男3名)  
活動日…輪読会 月2回  
顧問名…藤原 正寿

私たち伝道部は、仏教や真宗の教えをからだで感じ学ぶといったことを視座にして活動を行っています。活動内容としてはいろいろな講演を聴いたり、大学や東本願寺で行われている行事に参加したりしています。例えば、毎年夏休みの時期に行われる「子ども奉仕団」に参加したり、「報恩講」に装束を着て出仕したりします。また月一回の御命日勤行を部内で行います。そういった活動をとおしてちょっと深い一風変わった大学生活を共に送りませんか？お待ちしております。

### 主な年間スケジュール

- 4月 春の法要 出仕
- 5月 蓮如上人御影道中
- 8月 子ども奉仕団 同朋ジュニア
- 11月 報恩講 出仕
- 12月 伝道部 報恩講



## ボランティア研究会

部員数…22名(男5名 女17名)  
活動日…手話学習会 毎週水・金曜  
聴覚障がい児と健聴児の相互交流 月1〜2回(土曜)  
顧問名…大城 邦義

私たちボランティア研究会は聴覚障がい児と遊ぶことをメインに、月に1〜2回ほどボランティアがあります。平日には手話学習会を開き、和気あいあいとした雰囲気です。覚えたい手話を使って聴覚障がいの子たちと意思疎通を図っています。そうすることによって、聴覚障がいの理解をさらに深めることができます。手話ができなくても大丈夫！みなさん初心者から始めていきます。新しいことを始めたい、色々な人に関わりたい、そんな方たちにはもってこいのサークルです。

### 主な年間スケジュール

- 6月 京都府立ろう学校 親子交流会
- 12月 京都聴障児親の会イベント



## 2014年度秋季大会等結果

※学生の学年は、大会時のものです。

### 卓球部

- 平成26年度秋季関西学生卓球リーグ戦(男子)  
4部Cブロック 4位
- 秋季京都九大戦  
シングル ベスト16  
小原 圭悟/社会学科第2学年  
ダブルス 3位入賞
- 第5回 CROSSOVER親善卓球大会  
男女別2~3人団体 3位 トーナメント ベスト8  
ダブルス 立花 豪/哲学科第2学年  
岡崎 大/歴史学科第4学年

### 硬式野球部

- 平成26年度京滋大学野球連盟 秋季リーグ戦  
I部 5位

### 陸上競技部

- 第34回 宇治市陸上競技選手権大会  
100m 6位  
西岡 慎悟/歴史学科第3学年  
4x100mリレー 5位

### 剣道部

- 全日本仏教系大学剣道大会  
個人戦 3位入賞  
村山 匠/真宗学科第3学年

### バスケットボール部

- 平成26年度  
関西女子学生バスケットボールリーグ戦  
4部Aブロック 1位(3部昇格)  
得点王  
阿久根 真帆/文学科第4学年  
優秀選手賞  
木下 可菜/教育・心理学科第3学年

### ソフトテニス部

- 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦  
8部 2位

### バドミントン部

- 関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会  
男子6部Dブロック 1位(5部昇格)  
女子4部Bブロック 3位

### テコンドー部

- REIZ TAEKWONDO CUP 2014  
個人戦 準優勝  
松田 一範/社会学科第3学年  
4位入賞  
京島 明宏/哲学科第1学年

### アメリカンフットボール部

- 関西学生アメリカンフットボールリーグ2014  
3部Eブロック 同率1位



ソフトテニス部は、関西学生リーグ昇格(現在8部所属)をめざし、湖西キャンパスコートにて日々活動しています。湖西キャンパスまで少々時間はかかりますが、男女ともに練習メニューから活動日まで、自主的に決めてお互い協力し合いながら、楽しくかつ真剣に取り組んでいます。初心者からインターハイ経験者まで、幅広いレベルの部員がいますので、大学から始めてみようと思う方も大歓迎です。興味のある方はぜひ一度、部室までお越しください。一緒に頑張りましょう。

部員数...13名(男10名 女3名)  
所属団体...関西学生ソフトテニス連盟  
京都学生ソフトテニス連盟  
活動日...週3回(水・金・土曜)  
活動場所...湖西キャンパステニスコート  
顧問名...松浦 典弘

## ソフトテニス部

### 主な年間スケジュール

- |    |                    |     |              |
|----|--------------------|-----|--------------|
| 4月 | 春季リーグ戦<br>シングルス選手権 | 9月  | 秋季リーグ戦       |
| 5月 | ダブルス選手権            | 10月 | 優勝大会<br>新進大会 |
| 6月 | 大学対抗選手権            | 11月 | 新人大会         |
| 7月 | 選手権大会              |     |              |



男子部は2013年から入部人数が増え、練習内容も幅が広がり活発に活動できるようになりました。女子部は今、ひと学年しかいませんが、他大学の学生と合同で練習したり、内容を工夫し、人数が少ないなかでも協力し合って活動しています。男子の練習に参加することもあります。男子部は5部昇格をめざし、主将中心に練習を考え、励んでいます。女子部は3部昇格を達成することができました。2015年は3部のなかでいい成績が残せるようがんばります。

部員数...25名(男18名 女7名)  
所属団体...関西学生バスケットボール連盟  
関西女子学生バスケットボール連盟  
活動日...男子 週4回(水・木・金・土曜)  
女子 週3回(月・水・土曜)  
活動場所...体育館  
顧問名...木越 康

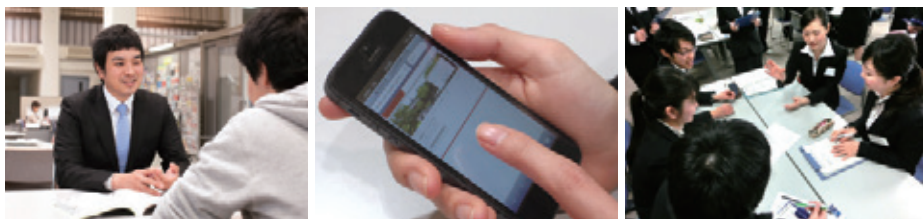
## バスケットボール部

### 主な年間スケジュール

- |    |                           |     |                                  |
|----|---------------------------|-----|----------------------------------|
| 4月 | 全関西男子バスケットボール<br>トーナメント大会 | 11月 | 男子新人戦<br>秋季京都学生バスケットボール<br>選手権大会 |
| 5月 | 京都学生リーグ戦                  |     | 全関西秋季バスケットボール大会<br>(女子)          |
| 8月 | 全関西バスケットボール大会<br>(男・女)    |     |                                  |

## キャリアガイド

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。



## 現在の就職環境

現在就職活動を行っている2016年3月卒業・修了予定者から、企業による採用選考にかかる活動開始時期が遅くなり、企業の採用広報活動が卒業前年度の3月、採用試験・面接が卒業年度の8月になりました。これは、経団連の「採用選考に関する指針」および就職問題懇談会の「申合せ」に基づく措置です。しかし、経団連に加盟していない企業の中には、従来通りのスケジュールで採用選考活動を進めている企業があるとともに、スケジュールの変更にもなつて、採用選考が短期間で行われるため、これまで以上に事前準備が重要となっています。

また、経済情勢が改善していることから求人枠を拡大するなど、企業の採用意欲は高まりをみせています。しかしながら、意欲の高い企業でも、求める人物像の学生と出会えなければ、求人枠が充足しなくても採用活動を終了する、いわゆる「厳選採用」の傾向は続いています。あわせて、近年、社会に出て働くことへの意識や企業に対する志望動機が曖昧なまま、就職活動に臨む学生が多いことも「就職難」といわれる状況の大きな要因と考えられます。

このような就職環境の中、将来、自分らしさを発揮し社会で主体的に生きていくためには、まず自らを知り、人間力を高めることが大切です。したがって、入学後のできるだけ早い時期に、①将来の目標を定めるなどの人生設計(キャリアデザイナー)を行うこと、②社会で求められる力

(チームで働く力、前に踏み出す力、考え抜く力)を身につけること、を意識し実践する必要があります。学業だけでなく、クラブ・サークル活動やボランティア活動、自らの趣味などに時間を有効に使い、さまざまな経験から視野を広げ、学生生活を充実させることが肝要です。

## キャリアセンターを活用しよう

キャリアセンターでは、卒業後の進路について、個別面談をはじめ、さまざまな支援を行っています。

特に就職に関する支援においては、求人情報や企業情報、過去の入社試験情報などを提供するとともに、左ページの通り、さまざまな就職支援企画を実施しています。

そのほか、短期大学部からの編入学や大学院への進学などについての相談にも応じています。

自らが描いたキャリアデザインを実現できるよう、学年を問わず、キャリアセンターを大いに活用してください。

なお、今年度から文学部第1学年・第2学年を対象としたキャリアガイダンスを7月と10月に実施する予定です。

## 進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」

本学では、進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」(進路希望登録が必要)を運用し、大学に届く求人情報、企業情報を

提供しています。これらの情報は、学内外のパソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォンからも閲覧できます。

また、本システムのメール機能を活用し、ガイダンスや講習など各種支援企画のお知らせや求人情報を配信しています。

## 就職支援企画

## ① 個別相談・模擬面接の実施

キャリアセンターの職員やキャリアアドバイザーが進路に関する相談に応じるほか、就職に関する応募書類(履歴書・エントリーシート)の作成補助・点検や模擬面接など、学生一人ひとりに応じた支援を行っています。

## ② 就職ガイダンスや各種対策講座の実施

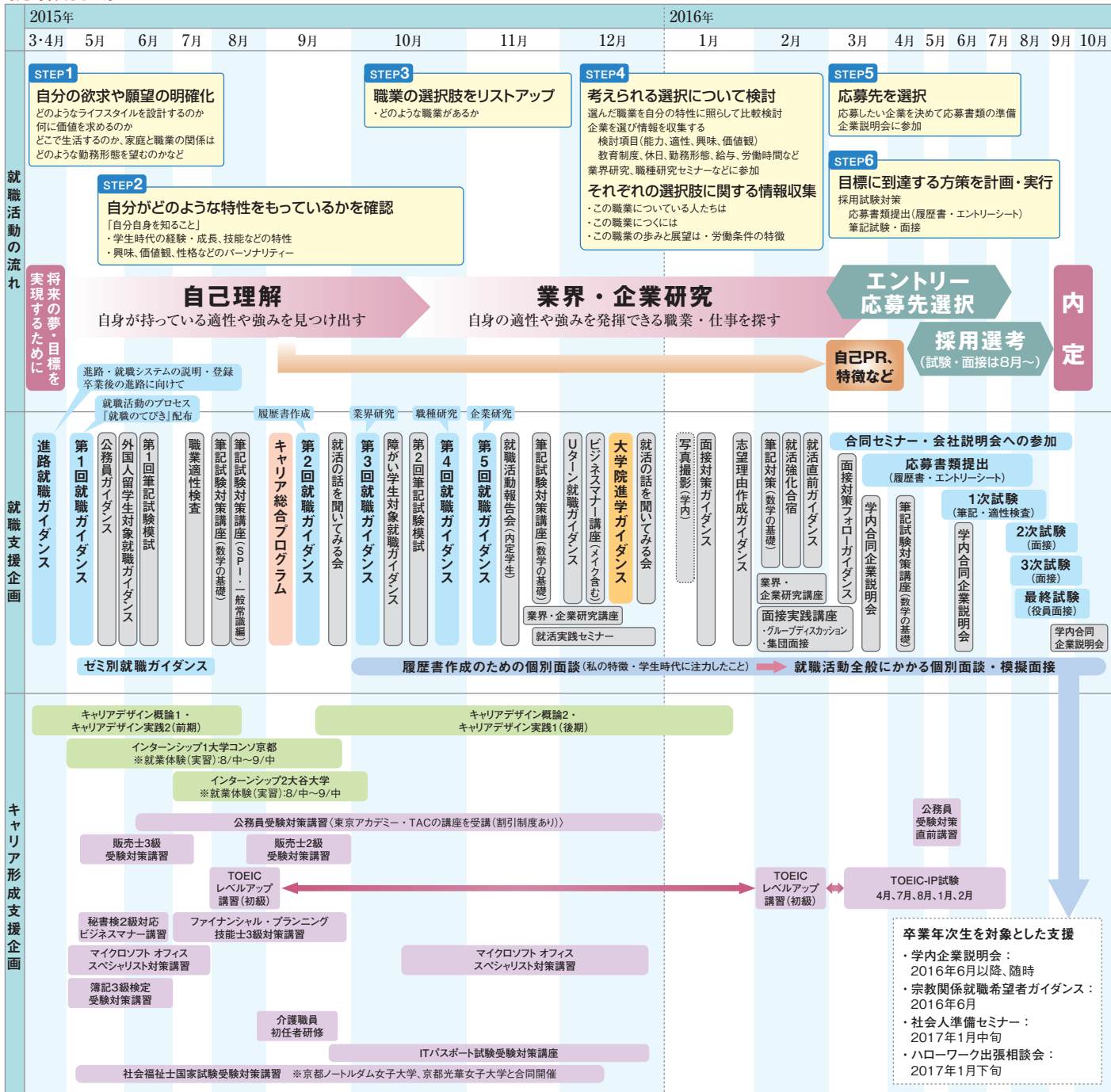
卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるとともに、就職活動に必要な力、マナーを身につけるためのガイダンスや実践講座を実施しています。

## キャリア形成支援企画の実施

卒業後の人生設計を考えながら、目標をもって学生生活を送り、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるためにインターシップ(正課科目)、資格対策講習などのキャリア形成支援企画を提供しています。



# 就職活動プロセス (2017年3月卒業・修了予定者)



※教員(幼稚園、小学校、中学校、高等学校)・保育士をめざす学生の就職活動プロセスは、対象となるガイダンスでお知らせします。

## 就職活動体験記

私は周りの就活生よりもスタートが半年以上遅く、就活に本腰を入れてやり始められるようになったのは7月でした。何か理由があったわけではなく、ただこれからの自分の未来が決まる大切な時期ということとは重々理解していましたが、逃げていました。そんな時、友達に誘われてキャリアセンターに行きました。そこで相談をしたキャリアセンタースタッフの方の励ましを受けて、就活を一からやり始める決心ができました。焦りと、もっと早くやっていればよかったという後悔があったので毎週1回は必ずキャリアセンターに行って相談をしました。そこで、職員の方々に自分の長所や就きたい職種は何かを聞かれて、こういうことを考えていくことが重要なのだと気づきました。また、考えるだけで終わらせず、行動することが大切だと学ぶこともできました。就活中は焦ってしまうこともあると思いますが、焦らずに就活を進めていくためには、早め早めの行動をすることがとても大事です。



2015年3月  
社会学科卒業  
**北之防 直也**  
内定先: 東神実業株式会社

## キャンパストピックス

## Event report

2014年10月11日(土)

## 清沢満之エッセイコンテスト

## 「まんしさんに、いま、伝えたいこと」表彰式挙

2014年10月11日(土)、大谷大学開学記念式典において、清沢満之エッセイコンテスト「まんしさんに、いま、伝えたいこと」一般部門の表彰式が執り行われました。

このエッセイコンテストは、明治期の大谷派僧侶で本学初代学長である清沢満之(1863~1903)を一般に広く知ってもらう目的と、中高生への読み書きの教育の一環として行われました。

一般部門の受賞者の方には学校法人真宗大谷学園の里雄康意理事長より表彰状および副賞の図書カードが手渡され、その後、講評が行われました。講評で里雄理事長は「受賞作品は、それぞれの生活に即したかたちで、清沢先生への想いが凝縮して表現されていました。選ばれるべくして選ばれる素晴らしい作品で、学ぶべきところが多くありました。」と述べられました。

一般部門の最優秀賞を受賞した高田正城氏は、「人生の転機を迎えた時、いつも清沢先生の言葉が私を叱咤激励してくれました。これからも先生の言葉と共に歩んでいきたいです」と語っていただきました。一般部門優秀賞は樺二美子さんと望月亜世さんに贈られました。

午後からは、尋源講堂において、



※受賞者の方々の学年は、受賞時のものです。

中・高校生部門の表彰式が行われ、本学草野学長より表彰状が手渡されました。最優秀賞は堀池萌水さん(大谷高校2年)が、また優秀賞は杉森友佳さん(大谷中学校2年)、鳥山貴弘さん(大谷高校1年)、河合晴夏さん(大谷高校2年)、下岡寧々さん(大谷高校2年)ら4名が受賞されました。

2014年12月5日(金)

## 京都翔英高等学校との高大連携事業に関する協定を締結

高等学校教育と大学教育との密接な連携をめざして、京都翔英高等学校と高大連携事業に関する協定の締結を行うこととなり、2014年12月5日(金)、本学にて協定書の調印式を実施しました。本学と京都翔英高等学校とは、2013年度に実施した高大連携の講義をきっかけとして教育的な連携が深まり、今般の協定締結に至りました。

調印式には、高等学校側からは堤清彰校長をはじめ、中川昌隆進路指導部長、堤文孝教務主任、足達亮祐FA学年主任にご出席いただき、本学の草野顕之学長と協定書を取り交わしました。

今回の協定内容は、高校生への多様な学習機会の提供や互いの教職員との交流・研修機会を設けることその他に、高校・大学が協働して高大接続に資する教育プログラムを開発することを定めています。協定締結を契機として、「人間教育を行う」という共通の教育理念を持つ京都翔英高等学校と、さまざまな高大連携プログラムを検討し実施していく予定です。



## 2015年度イベント予定

## 新入生歓迎イベント・若葉祭

2015年  
4月2日(木)~4月11日(土)

新入生の皆さんが、4月から充実した学生生活をおくってもらいたいという願いを込めて、4月2日(木)~11日(土)に、さまざまなイベントを新入生歓迎実行委員会が企画しています。特に、4月11日(土)に開催する若葉祭では、学内団体のテントや特設野外ステージがキャンパス内に立ち、クラブ・サークル紹介やパフォーマンス、ライブなどで盛りあがりま



2014年12月11日(木)

## 児童クラブ事業における障害のある児童の 統合育成対策介助者派遣事業への 大学生等派遣に係る協定を締結

本学は、特別な支援を必要とする児童を受け入れる児童館や学童保育所へ介助者を派遣する京都市児童館学童連盟および京都市との間で、大学生派遣に係る三者協定を締結することとなり、2014年12月11日(木)、本学において締結式を実施いたしました。

締結式には、同連盟の山手重信会長、京都市より江口尚志子育て支援政策監、本学からは草野顕之学長らが参加して、協定書を取り交わしました。



現在、京都市の児童館・学童保育所などを利用する児童のなかで、特別な支援を必要とする児童は500人を超え、子育て支援制度の改定によって、さらにスタッフが必要とされております。

本学の教員養成では、人間性豊かな、人間味あふれる教員を養成することを目標としております。今回の締結では教職課程にとどまらず、本学全体として、安心して子育てできる地域・社会を支えていきます。



2014年11月25日(火)

## 真宗総合研究所とベトナム社会科学アカデミー宗教研究院が共同編纂実施に関する覚書を締結

ベトナム社会科学アカデミー宗教研究院に所属する本学卒業生・大西和彦氏(1984年3月博士後期課程満期退学)を介して、本学真宗総合研究所へ学術協定が打診され、2013年12月、両機関が学術交流協定(MOU)を締結しました。

この宗教研究院は、1991年に創設され、ベトナム並びに外国の宗教の教理と実践について研究する国直属の機関で、宗教研究者の養成も行っています。

今回は新たに、包括協定を基盤として具体的な共同事業を推進するための協定で、「日本ベトナム仏教用語辞典」の共同編纂に先立ち、「日本・ベトナムの仏教概説」を共同で編纂するという内容で、本学では織田教授、箕浦准教授が中心となり進められる計画です。

グエン院長は今回の協定締結について「ベトナムは、日本のことを大変尊重しており、今回の協定は学術的進展だけでなく、両国の友好関係が深まることにつながる」と述べられました。



※キャンパスピクスの学年表記については、2014年度のものです。

## 2015年度 博物館開館予定

春季企画展

2015年  
4月1日(水)～5月16日(土)  
大谷大学のあゆみ  
開創350年  
学寮とその時代

夏季企画展

2015年  
6月9日(火)～8月2日(日)  
東アジアの  
歴史と文化(仮)

秋季企画展

2015年  
9月8日(火)～9月26日(土)  
大谷大学博物館の逸品  
—重要文化財—  
「化度寺故僧邕禅師  
舍利塔銘」  
「信行禅師興教碑」  
拓本—(実習生展併催)

冬季企画展

2016年  
1月6日(水)～2月13日(土)  
京都を学ぶ  
住田智見(仮)

特別展

2015年  
10月10日(土)～11月28日(土)  
生誕600年  
蓮如(仮)

2014年9月15日(月)

### 「伝記作成プロジェクト」に 社会学科の学生が参加

本学の社会学科第1学年の演習4aクラス(担当:赤澤講師)の学生約20名が、学科での学びの一環として、京都市北青少年活動センターが主催する「伝記作成プロジェクト」(2014年5月よりスタート)に参加しました。この「伝記作成プロジェクト」とは、地域の高齢者の方々から、これまでの人生・当時の暮らしや町並み・戦争の時代のお話などをお聞きし、文章としてまとめて製本し、世界で一冊の「伝記」を作成するというものです。

学生たちは聞き取りの前に、高齢者の方々とのコミュニケーション・聞き取りの方法などの研修を受け準備を重ねていきました。研修後はグループに分かれ、ご自宅などに何度も訪問し聞き取りを進めていきました。最後に文章をまとめて製本し伝記を完成させました。

敬老の日の9月15日(月)に、京都市北青少年活動センターにて贈呈式が行われ、聞き取り調査にご協力いただいた地域の高齢者の方々をお招きし、学生たちより伝記を手渡しました。



2014年10月11日(土)

### 2014年度 雲井奨学金 奨学生証書授与式を実施

2013年度から運用が開始された、雲井昭善名誉教授からの寄付金を財源とした雲井奨学金は、大谷大学での学びに強い意欲をもちながら、経済的事情により修学が困難な学生に対して給付されるものです。

2014年度は、16名の出願があり選考のうえ6名の方が奨学生として採用されました。

尋源講堂において奨学生証書授与式が行われ、草野顕之学長より奨学生証書が授与されました。学長は挨拶のなかで「奨学生の皆さんはこのことをきっかけに、さらなる勉学に励んでほしい。そして、雲井先生の願いに応えられるような努力を、今後もしていただきますことを強く念願します」と期待の言葉をかけられました。雲井先生は授与式に欠席されましたが、証書授与にあたり授与者に向けた言葉を色紙にされ、そのレプリカを記念品として授与者に贈呈しました。

証書授与式は、本学の混声合唱団とともに大学歌を斉唱し閉式いたしました。



2014年12月13日(土)

### 2014年度 第2回留学生文化交流会を開催

「中華街・異人館散策&キャンドル作り&夜景鑑賞」をテーマに、留学生文化交流会を開催いたしました。

神戸に向かうバス車中では自国の年末年始イベントやグルメに関して参加者に発表してもらいました。チベットの出身の留学生は、飼っている羊から新鮮な肉を使い、肉まんや餃子を作る話を披露してくれました。チベットでは海拔が高く植物が少ないため、日常生活において野菜よりも肉をよく食べるそうです。韓国人留学生は、トック(もち)のスープである「トックク」を紹介してくれました。

バスの車窓からは六甲山地を眺めながら、鈴木学生部長に専門分野である六甲山の地形・地質に関するミニ講義をしていただきました。



神戸元町中華街では、中国人留学生が、日本のスーパードでは見かけない中国食材を見つけて喜んで購入していました。その食材をどう料理するのかを日本人学生が教えてもらっていました。

神戸元町中華街散策後は、「北野工房のまち」でアロマジェルキャンドル作りを行い、その後は異人館散策に出かけました。

最後に夜景鑑賞のため六甲山頂上の六甲ガーデンテラスへ移動しました。六甲山からの夜景は「日本三大夜景」に数えられる名所で、「1000万ドルの夜景」と言われる美しい景色が眼下に広がっていました。

今回の文化交流会では、「他国の文化を知り、それと同時に自分の国のことを相手に伝える難しさがわかった。もっと色んなことを知りたい、学びたい」という感想が寄せられました。

これからも留学生と日本人学生が交流する機会を設けていきます。皆様、ぜひ次回の文化交流会にご参加ください。

Our teacher

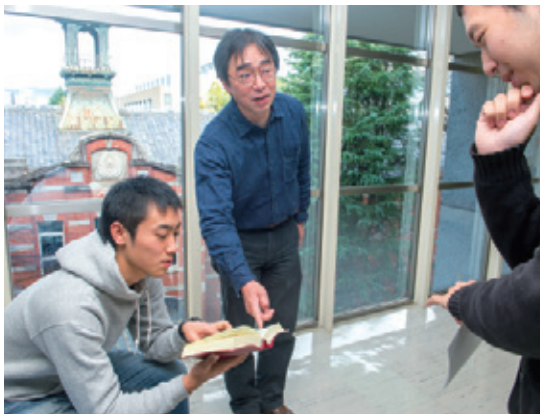
# 私たちの先生

より広く、より深い視点からアドバイス。学ぶことの面白さを教えてくれる存在です。



真宗学科 准教授  
井上 尚実

1984年京都大学文学部(哲学科仏教学)卒業。84-89年長野県立岡谷南高等学校英語科教諭。91年大谷大学大学院(文学研究科仏教学)修士課程修了。94年カリフォルニア大学サンタバーバラ校大学院(宗教学)修士課程修了。99-2003年真宗大谷派組織部嘱託、03年大谷大学文学部真宗学科専任講師を務めた後、10年Ph.D.取得。大谷大学文学部真宗学科准教授、現在に至る。専門/真宗学(仏教学・宗教学)

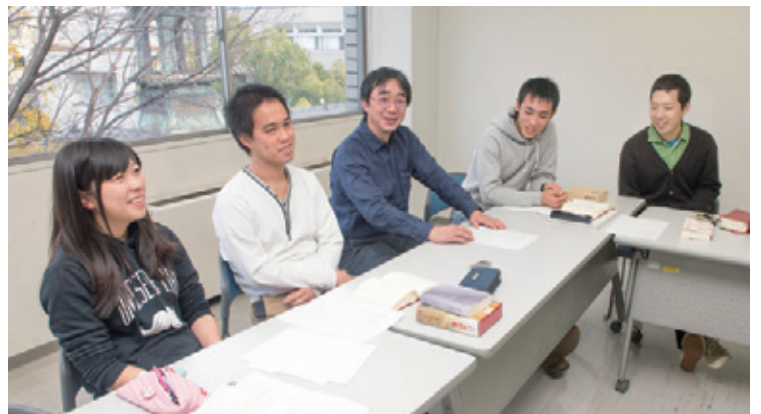


親鸞聖人が語った教えの言葉を伝える『歎異抄』をテキストに、人が生きるうえで本当に確かなよりどころとは何かを考えていくのが、井上ゼミでの学び。メンバーはそれぞれ自分の担当箇所を決め、ゼミ内で発表し、質問やコメントなど自由に意見を交わしながら理解を深めていきます。

あくまでも学生の主体性を尊重しながら、より深く、的確な理解へと促すアドバイスをくれるのが井上先生。たとえ間違った意見やとんちんかんな質問であってもしっかりと耳を傾けてくれて、時に丁寧な説明で、時には鋭いつこみで、それぞれの研究を力強くサポートしてくれまます。何より勉強になるのが、難解な専門用語を多用するのではなく、わかりやすい言葉で親鸞の言葉を読み解いていくところ。例えば英訳の『歎異抄』は、翻訳する際にわかりやすい言葉に一旦置き換えてあるので、よ

りスムーズに理解ができます。もともと英語教師でもあった井上先生だからこそ、真宗学だけにとどまらない幅広い視野で指導。言葉の意味だけでなく親鸞聖人が生きた歴史的背景を調べ、今の社会に置き換えて考えてみるなど、学びへの興味や探究心を大いに刺激してくれます。

そんな井上ゼミには、他大学からの編入生を含めいろいろな個性の学生が集まっています。それも、穏やかで情が厚い井上先生のお人柄があつてこそ。わからないことや悩んでいることなど何でも親身になって相談に乗ってくれるので安心です。学ぶことの面白さに気づかせてくれる先生です。



紹介してくれた井上ゼミ(第3学年)のみなさん

## 先生から学生たちへのメッセージ

『歎異抄』は単なる古典ではなく、現代を生きる私たちが人間や社会について考えるうえで大切なことに気づかせてくれる優れた宗教書です。ただ言葉を覚えるのではなく、親鸞が生きた時代や社会のあり方を思いながら文脈を読み取り、その言葉が伝えようとしているメッセージに耳を傾けてほしい。そこに示されている人間観・世界観は、歴史や文化の違いを超えた普遍性をもっています。

例えば原発や自然災害や戦争など、現代の社会には簡単に解決することができないさまざまな問題があふれています。親鸞の言葉は、それらをどう受けとめ、どう対処していくべきなのかを考えるうえで大きな示唆を与えてくれます。世間の「常識」とされるような価値観とは違う、広く自由な世界が見えてきます。画一化された見方を疑い、しっかりと依り処に立って自分で考える力。それは将来どんな仕事に就いても、さまざまな困難を乗り越えていく心の柔軟性を育むでしょう。



ENJOY!

ライフ

アフタースクールをもっと楽しもう!

今回は、こだわりの洋食専門店  
「グリル YuTaKa」をご紹介します。  
ぜひお友達と誘い合って出かけてみてね!

## 手間をかけて作り出す、他にはないYuTaKaだけの味。



**YuTaKaがこだわる手作りの味。  
こだわりの料理を  
山小屋風のおしゃれな店内で堪能あれ!**

創業37年、山を愛するマスターが山小屋をイメージして作った店内は、木の温もりを感じる落ち着いた空間になっています。お店の人気メニューはハンバーグやタンシチューで、これに使われているデミグラスソースがマスターの一押し! サラダにかけるドレッシングやポテトサラダに使うマヨネーズまで自家製で「手作りでしか出せない温かい味」を大切にしているとのこと。このこだわりが、他にはないYuTaKaならではの味を作り出しています。

テイクアウトや近所へのデリバリーも  
できるので、家でもYuTaKaを味わう  
ことができます♪



とろとろに煮込まれた  
タンシチューに  
テンションもあがる〜♪



**トークにも味がある。  
歴代学長も愛した  
グリルYuTaKaと大谷大学の関わり**

大谷大学24代学長の訓覇曄雄先生、25代学長の小川一乗先生をはじめ、大谷大学で働く先生や職員の方々も昔からよく足を運ばれていたそうで、YuTaKaと大谷大学は長い付き合いになるんだとか。カウンター席に座られる先生の話聞くのは「面白いし、勉強になって楽しかった」とおっしゃっていました。マスターと一緒にインタビューに応じてくださった奥さんも、終始笑顔で私たちの質問に答えてくださいました。マスター、奥さんとの会話もYuTaKaの魅力のひとつになっています!



マスターのお話は  
魅力的で  
とっても楽しい!



写真左より/ 山田 真照・蛭可 徹・廣瀬 和樹・横山 南

今回は  
哲学科村山ゼミ(2015年3月卒業)の  
僕たちが本当は教えたくない  
名店を紹介します!

哲学科では自分の疑問に思ったことについてゼミで話し合ったり、哲学者の力を借りたりして考えるところです。授業外では先生と一緒に遠足に行ったりもします!

# 谷大

## 「グリルYuTaKa」が 北大路でお店を開いて37年、 マスターが思う北大路

グリルYuTaKaを北大路に開いたのはなぜか。マスターは「北大路は自然と街のバランスが非常に良いから」とおっしゃっていました。自然が好きだからといって田舎に店を構えても人がいないのでは意味がない。かといって人が多い都会では自然が少なすぎる。「人がいて自然もある」そんなマスターの願いを叶えてくれたのが北大路だったのです。ただ最近北大路の活気もなくなってきているようで、谷大生にはぜひ北大路を盛り上げてほしいと語っていました。



あっという間に  
みんなで完食!

もっと  
食べたい~!



今回ご紹介したお店の情報はこちら!



店名	グリル YuTaKa
住所	京都市北区小山上総町8
交通	地下鉄烏丸線「北大路」駅 3番出口より徒歩5分
営業時間	11:00~14:00(オーダーストップ14:00) 17:00~20:00(オーダーストップ20:00)
定休日	水曜日



# 2014年度 大谷大学教育後援会 文芸奨励賞

## テーマ 「異文化」との出会い

大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として、本学の学生を対象に文芸作品を募集し、「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年に創設された賞です。

2014年度は「異文化」との出会い」というのがテーマでした。50字以内の自由表現で作品を募集いたしましたところ、115編の応募がありました。2013年度より低調であったのが残念であり、しかし、作品は個性あふれるものばかりでした。現代社会の必需品とも言えるパソコンを、敢えて四角い画面やクリックという言葉を用いて表現し、それにとらわれる自分自身を想定しているのか。はたまた周囲への呼びかけなのか。他の作品も、その後はどうなったのだろうか。と、読む側の想像を膨らませてくれるものが多くありました。ややもすれば、私たちが忘れがちな思いやり、感覚が表現された作品に出会えたと思っております。文芸奨励賞は、文科の大学として大きな意義をもつものであります。2015年度は言葉による表現が盛んになり、どんどんチャレンジしていただきたい、心より期待いたしております。

大谷大学教育後援会 会長 三村 智子



文芸奨励賞表彰式  
2014年11月22日(土)

### 最優秀賞

文学部第4学年 哲学科 西岡 大輔  
(ニシオカ ダイスケ)  
四角い画面が世界じゃない  
クリックでは入れない  
本当を見つげに旅へ出よう

### 優秀賞

文学部第2学年 哲学科 鈴木 康太  
(スズキ コウタ)  
公園で小さな子供がはじめて、  
こんにちは。  
それは小さな小さな異文化同士の  
出会いの挨拶

文学部第3学年 哲学科 谷山 忠義  
(タニヤマ タダヨシ)  
感じる違和感、好奇心  
私は彼らを見る  
彼らも私を見る  
私はお辞儀をする  
そして、ただじっと  
自分の足下を見た

### 佳作

文学部第2学年 教育・心理学科 安達 誠  
(アタチ マコト)  
おはよう  
雀は答えた 風が寒いね  
毛虫は答えた 朝は忙しい  
犬は答えた 首輪がきついよ  
母は答えた おはよう

文学部第4学年 歴史学科 石田 渉  
(イシダ ワタル)  
ことばが違うはずなのに、  
手と手をつなぐ感覚って、  
おんなじなんだ。

文学部第1学年 歴史学科 岡本 昇也  
(オカモト ショウヤ)  
おはよう異文化!!  
おやすみ異文化!!  
どうせなら  
楽しもうよ  
せつかく違うんだからさ

文学部第1学年 哲学科 柿本 真悟  
(カキモト シンゴ)  
目玉焼きにソース  
けつこうおいしい  
昨日まで知らなかったその世界  
明日はもっと良い世界

文学部第3学年 哲学科 上舞 一馬  
(カミマイ カスマ)  
異国の地で様々なことを知る  
その経験は私を包む空気を溶かしていく  
ソーダ水の泡のようにシユワシユワと

文学部第2学年 歴史学科 呉竹 芽生  
(クレタケ メイ)  
子どもの頃にあったものは  
今はない  
今あるものはやがて  
消えてゆく  
異文化に出会えるのは  
いつまでだろう

文学部第4学年 哲学科 澤村 祐司  
(サワムラ ユウジ)  
隣の家で  
もう発見

文学部第1学年 仏教学科 中田 創  
(ナカタ ハジメ)  
私に『殻』を破らせてくれて、  
私に『翼』を与えてくれて、  
ありがとう。

文学部第3学年 国際文化学科 中西 毬  
(ナカニシ マリ)  
常識：  
違う国では非常識  
人がつくったものだから  
思いやり：  
違う国でも変わらない  
元から持つてるものだから

文学部第4学年 哲学科 横山 南  
(ヨコヤマ ミナミ)  
いつのまにか  
馴染んでしまうのだろう  
だから 覚えていたい  
「異」のままを見れる  
この瞬間

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。



## 部長等の交代

- 【学生部長】  
福島 栄寿  
(前学生部長 鈴木 寿志)
- 【入学センター長】  
村山 保史(再任)
- 【大学院文学研究科長】  
村瀬 順子  
(前大学院文学研究科長 高井 康弘)
- 2015年4月1日付(各通)

## 館長等の交代

- 【学舎長】  
山田 恵文  
(前学舎長 藤元 雅文)
- 2015年4月1日付

## 定年退職

- 【教育職員】  
飯田 剛史  
(教授/文学部/社会学科)
- 谷 眞理  
(教授/短期大学部/仏教科)
- 安井 喜行  
(教授/文学部/社会学科)
- 鷺田 清一  
(教授/文学部/哲学科)
- 【事務職員】  
宇津木 秀司  
(企画・入試部)
- 日野 純悟  
(教育研究支援部)
- 2015年3月31日付(各通)

## 契約期間満了による退職

- 【教育職員】  
川村 覚昭  
(特別任用教授/文学部/教育・心理学科)
- 小川 健一  
(任期制講師/文学部/教育・心理学科)
- 亀田 十未代  
(任期制講師/短期大学部/幼児教育保育科)
- 川端 泰幸  
(任期制講師/文学部/歴史学科)
- 金 京子  
(任期制講師/文学部/国際文化学科)
- 足立 和彦  
(任期制助教/文学部/国際文化学科)
- 安藤 秀幸  
(任期制助教/文学部/文学科)
- 上原 永子  
(任期制助教/文学部/仏教学科)
- 大畑 啓  
(任期制助教/文学部/歴史学科)
- 木島 菜菜子  
(任期制助教/文学部/国際文化学科)
- 難波 教行  
(任期制助教/文学部/真宗学科)
- 古荘 匡義  
(任期制助教/文学部/哲学科)
- 森 雅子  
(任期制助教/文学部/国際文化学科)
- 【事務系嘱託】  
加藤 里亜(企画・入試部)
- 北村 悦子(教育研究支援部)
- 塚本 祥子(学生支援部)
- 野村 弘道(学生支援部)
- 野邑 理香(総務部)
- 前原 利佳子(総務部)
- 松尾 奏子(企画・入試部)
- 松林 美香(総務部)
- 【寮監】  
長松 真見  
(貫練学寮)
- 林田 真貴子  
(自灯学寮)
- 【教職アドバイザー】  
西寺 正  
太田 露子  
(学習支援アドバイザー)
- 2015年3月31日付(各通)

## 依願退職

- 【教育職員】  
天野 勝重  
(准教授/文学部/文学科)
- 野中 亮  
(准教授/文学部/社会学科)
- 赤枝 香奈子  
(任期制講師/文学部/社会学科)
- 林 哲雄  
(任期制助教/文学部/哲学科)
- 2015年3月31日付(各通)

## 新規採用

- 【事務職員】  
谷本 雅亮  
(総務部)
- 2014年11月30日付
- 【学習支援アドバイザー】  
黒澤 祐介  
2014年6月3日付
- 【事務系嘱託】  
熊谷 亜雅紗  
(学生支援部)
- 2014年10月1日付

- 【教育職員】  
森田 裕之  
(教授/文学部/教育・心理学科)
- 野村 明宏  
(准教授/文学部/社会学科)
- 鎌谷 勇宏  
(講師/文学部/社会学科)
- 川端 泰幸  
(講師/文学部/歴史学科)
- コンウエイ マイケルJ.  
(講師/文学部/真宗学科)

- 飯田 剛史  
(特別任用教授/文学部/社会学科)
- 小川 健一  
(特別契約講師/文学部/教育・心理学科)
- 小川 晴美  
(任期制講師/短期大学部/幼児教育保育科)
- 鄭 祐宗  
(任期制講師/文学部/国際文化学科)
- 渡邊 拓也  
(任期制講師/文学部/社会学科)
- 稲葉 維摩  
(文学部/仏教科)
- 佐々木 拓  
(任期制助教/文学部/哲学科)
- 関本 真乃  
(任期制助教/文学部/文学科)
- 田鍋 良臣  
(任期制助教/文学部/哲学科)
- 種子田 香  
(任期制助教/文学部/国際文化学科)
- 中山 量純  
(任期制助教/文学部/真宗学科)
- 長谷川 雄高  
(任期制助教/文学部/歴史学科)
- 藤原 美沙  
(任期制助教/文学部/国際文化学科)

- 【事務職員】  
渡邊 温子  
(任期制助教/文学部/国際文化学科)
- 荒川 咲  
(学生支援部)
- 澤田 智美  
(学生支援部)
- 高橋 法子  
(総務部)
- 辻野 皓一郎  
(学生支援部)
- 野村 弘道  
(総務部)
- 大下 志保  
(総務部)
- 大橋 宏子  
(学生支援部)
- 掛江 美里  
(総務部)
- 唐崎 加奈世  
(企画・入試部)

- 【寮監】  
小和 慎平  
(貫練学寮)
- 稲岡 智子  
(自灯学寮)
- 【教職アドバイザー】  
須川 和幸  
美濃部 俊裕  
古荘 匡義  
森本 純代  
2015年4月1日付(各通)
- 【異格】  
市川 郁子  
(文学部/教育・心理学科)
- 柴田 みゆき  
(文学部/人文情報学科)
- 2015年4月1日付(各通)
- 瀧井 理絵  
(教育研究支援部)
- 中井 裕美  
(学生支援部)
- 野村 亮介  
(企画・入試部)
- 宮野 智  
(総務部)
- 村田 奈緒子  
(教育研究支援部)
- 梁 順蓮  
(総務部)

# 2015年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2015年度の授業料のスライド率は、2014年度と同様0.00%とし、据置きとします。また、教育施設改善のための施設費および大学院の授業料も据え置き、2014年度と同額とします。

本学では2011年に今後の10年を見据えたグランドデザインを発表いたしました。このグランドデザインの実現を目標にし、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために学生の皆さんの学費を有効に利用し、さまざまな事業を実施します。

2014年度からは、英語の基礎、日本語の基礎である「読み書き」を中心としたリメディアル教育の拠点となる学習支援室を開設し、きめ細やかな個別指導を実施しています。さらに、2015年度には、より高度な「読み書き」の能力を向上させるため、「文藝塾」を開設し、小説家、編集者など、文章を書くプロを招いて仕事内容を学ぶとともに実践的な「読み書き」力を徹底的に鍛えます。

また、教職課程におきましては、2014年度入学生から特別支援教員養成課程が履修できるようになりました。教職支援センターでは、特別支援学校教員をめざす学生のサポートも含め、教員採用試験や学校ボランティアのバックアップなど、支援を強化していきます。

他方、施設面では、本部キャンパス整備計画の理念「自ら創る『学び』のかたち―伝統を、社会に開き、未来へつなぐ―」のもと、教室棟の建替え計画を推進してまいります。本計画では、広大な学生ロビーを中心に多

様な教育空間を実現して主体的な学びをサポートしていくことを前提に、「教室 従来の大教室に加え、少人数教育型の教室を多数設置」や「教員の個人研究室」、各種の「支援室(サポートセンター)」、学生支援部(教務課・学生支援課・キャリアセンター)事務局、「交流スペース(マルチスペース)」、「響流館との連結ブリッジ」を配置し、それらが有機的に学生の学びや活動をサポートできるように検討しています。また、環境に配慮した建物として、太陽光発電や地熱利用、「重力を利用した自然換気システム」など、自然エネルギーを活用するように計画しています。

学生納付金は一年分を「前期」と「後期」の二回に分けて、納入いただきます。前期学生納付金の納入期限は、4月20日(月)〔後期は9月30日(水)〕銀行受付日付有効です。振込依頼書は、保証人(学費負担者)宛に4月1日〔後期は8月末頃〕に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

なお、振込依頼書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月20日(月)〔後期は9月30日(水)〕までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票など)が必要となります。ご留意ください。

2015年度学生納付金一覧			学 費		その他の費用					合計額
			授業料	施設費	大谷学生会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会 入会金	※同窓会 終身会費	
前期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	/	/	516,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000			366,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
後期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	593,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000	5,000	30,000	401,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000

※ 本学では、学費のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用していますが、2015年度は据置きとしています。  
 ※ 文学部第4学年、短期大学部第2学年、大学院修士課程第2学年、大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。  
 なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。  
 ※ 休学をする場合は、在籍料として半期毎に60,000円(学部学科共通)の納入が必要です。納入期日は、4月20日(月)〔後期は9月30日(水)〕です(締切日厳守)。  
 ※ 修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

# 教育後援会だより

## 2014年度 教育後援会事業について(報告)

2014年度の主な事業につきましては、教育後援会の趣旨に基づき、「父母兄弟懇談会」を開催しました。また、課外活動団体への活動補助や、キャリア・就職支援としての筆記試験模試・面接実践講座等に対する補助、学内食堂のメニューやビッグバレーカフェの日替わりパン等への補助、奨励金や奨学金の給付・貸与がなされました。

\*詳しくは、8月発送予定の「教育後援会報告書」にて報告いたします。

## 2014年度 全国父母兄弟懇談会および東海地区父母兄弟懇談会開催について(報告)

9月20日(土)、大谷大学において「全国父母兄弟懇談会」が開催され、240名を超えるご父母兄弟の出席をいただきました。

講堂では、大学の教育・研究や学生生活等についての現況報告がなされ、その後、キャリアセンターより就職状況についての説明がなされました。

講堂での説明の後、博覧館5階へ会場を移し個別相談等が実施されました。個別相談では、「成績・進級」、「進路・就職」、「学生生活」等のコーナーが設けられ、各コーナーでは熱心な相談が寄せられました。また、同フロアにおいて「教員との個別懇談コーナー」も設けられました。指導教員とご父母兄弟が、学生の日頃の様子について直接懇談されている様子が多く伺えました。

また、軽食等も準備され、父母兄弟同士が懇談できる場にもなり、とても和やかな雰囲気の中有意義な時間となりました。

また、12月7日(日)～8日(月)には、静岡市、名古屋市内において「東海地区父母兄弟懇談会」を開催しました。教育後援会会長、役員、学長、学監、事務局長および、成績・進級・進路・就職等を担当している大学事務職員が赴き、当該地区の方々とはじくり懇談できる貴重な時間となりました。

## 2015年度 教育後援会行事について(お知らせ)

2015年度は、左記のとおり行事を開催する予定としております。

なお、全国父母兄弟懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦を鑑み、決定しております。是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

北海道地区父母兄弟懇談会*
7月11日(土) 札幌グランドホテル(北海道札幌市)
全国父母兄弟懇談会
9月19日(土) 大谷大学
四国地区父母兄弟懇談会*
12月12日(土) 松山全日空ホテル(愛媛県松山市)
12月13日(日) ロイヤルパークホテル高松(香川県高松市)

\*※当該地区に在住の父母兄弟等保証人へ案内



全国父母兄弟懇談会  
教員紹介の様子



東海地区父母兄弟懇談会  
個別懇談の様子

### 教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業計画を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

# 教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後とも引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜わりますようお願い申し上げます。

また、本学の設立母体である学校法人真宗大谷学園では、広くご寄付を募るとともに利便性を高めるため、インターネットを利用したクレジットカード決済によるご寄付の受入れも行ってまいります。詳しくは、大学ホームページをご覧ください。

なお、2014年8月1日から2015年1月31日までの間に、ご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。厚く御礼申しあげます。

### 教育振興資金寄付者(敬称略)

秋友 伸二(香川県)	杉浦 義孝(愛知県)	正覚寺「鳥添 信生」(福岡県)
浅田 純(長崎県)	田治 和実(福井県)	
上野 純(愛知県)	田中 佐英(滋賀県)	
小川 一乘(北海道)	土橋 賢治(大阪府)	真宗大谷派長浜教区第十五組坊守会(滋賀県)
小野内 悦二郎(京都府)	中村 浩(岡山県)	匿名 1件
髙 知明(福岡県)	馬場 重彰(京都府)	
上谷 則行(兵庫県)	藤本 浄信(島根県)	
木越 千里(京都府)	布施 憲一(奈良県)	
日下 啓洋(愛知県)	牧田 圭司(京都府)	
古結 直幸(兵庫県)	譲 西賢(岐阜県)	
越本 達了(大阪府)	リンダ・ウィットツド	
新川 美由紀(香川県)	和田 実(愛媛県)	
須川 裕二(京都府)	匿名 11名	

◆ 件数 39件  
◆ 寄付金総額 1,335,000円

**税法上の優遇措置について**  
本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けております。そのため、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

### ●お問い合わせ先 教育振興資金事務局

〒603-8143  
京都市北区小山上総町  
大谷大学総務部校友センター内  
TEL : 075-411-8124  
FAX : 075-411-8157  
E-mail : kouyuu@sec.otani.ac.jp

## 20歳の決断

4月に大谷大学に着任し1年が過ぎた。春には研究室から見える大きな桜の美しさに心奪われ、夏にはキャンパス内の大木の木陰に癒され、秋は紅葉を眺めて過ぎ行く季節に思いを馳せ、雪景色の静寂にはととする冬を越し、そして今2度目の春を迎えた。

自分が教壇に立つことになることは夢にも思っていなかった。高校卒業時は語学に関心があり、短大へ進学した。進路を考える時期になり、留学を決意したり企業に就職を決める友人たちの声を聞きながら、私は何がしたいのだろう、と考えた。そして「人の役に立つ仕事がしたい」と思い立ち、3年次から社会福祉学科のある大学に編入した。大学での学びは発見の連続で、社会福祉は私たちみんなのためにあるものだ」と知った。授業だけではなく、先輩や同級生、先生方との交流は何より楽しかった。卒業後は医療ソーシャルワーカーとして働いた。大きな病気が何一つなかった私に、患者さんの相談を聞き必要な解決策を考える、という役割を担った。そこでホームレス状態の患者さんに出会い、貧困問

題や、病と共に生きる大変さを教わった。ホームレス状態に陥った人たちとの関わりは病院を退職した後も続き、今も夜回りや炊き出しに参加している。20年後の今、20歳の私の決断に感謝したいと思う。患者さんの暮らしの支援は辛い悲しい場面もあった。それでも、社会福祉の仕事のやりがいや人の温かさ、力強さを教えてもらい、今の私がある。

「20歳」は、成人になる年齢だ。自分のことを自分で決めることができる。もちろん周囲の支えは必要だけれども。これから20歳になる学生、少し前に20歳を迎えた学生たちも何かを決断していくだろう。それはきっと、これからの人生を素敵なものにしてくれる「決断」になるのだと思う。20歳の私の決断に感謝しながら、学生の「20歳の決断」を共に歩んで行きたい。



社会学科  
講師

中野 加奈子

専門分野/  
社会福祉学  
(社会福祉援助技術論、貧困問題、  
医療福祉、生活史研究)

時代を照らす仏教のことば

すでに

この道あり。

親鸞「教行信証」〈所引「観経疏」〉  
(真宗聖典P.220)

### 編集後記

今回の「学長との対談」ページでは、セントラル・リーグで審判員を務められている佐々木昌信さんにご協力いただきました。先輩からのメッセージとして、対談のなかでも語られているように、新入生のみならずにも人との出逢いを大切にして学生生活を過ごしていただきたいです。  
(編集担当)



解説文は…  
大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/0303>